

企画展「加藤謙一と佐藤紅緑」開催報告

「あゝ玉杯に花うけて」をはじめとする作品により、少年小説の大家として一世を風靡した弘前出身の佐藤紅緑。妥協を許さない誌面作りと斬新なアイディアで昭和の名編集者とうたわれた同郷の加藤謙一。子供たちに夢と希望を与えようと力を尽くした二人の思いと業績を紹介する企画展「加藤謙一と佐藤紅緑」は、加藤丈夫氏・佐藤愛子氏・澤井洋紀氏・三上強二氏・講談社・世田谷文学館・手塚プロダクション・弘前大学附属図書館・文京ふるさと歴史館・弥生美術館・県史編さんグループの御協力を得て、平成二十四年十月十三日(土)から十一月二十五日(日)まで開催されました。総資料点数三〇八点、来館者数は一八六一名でした。

展示は、①二人が出会う以前のそれぞれの歩み、②二人の出会いによって迎えた雑誌「少年倶楽部」黄金時代、③あらたな時代と二人の歩みという三部構成でした。

①では、陸羯南、正岡子規を師と仰ぎ、政治記者、俳人を経て、私生活上の嵐吹き荒れる中、劇作家、大衆小説家として名を成すまでの佐藤紅緑と、郷里での安定した教員としての生活を捨て、信念をもって子供向け雑誌の世界に飛び込み、がむしゃらに突き進んだ若き編集長加藤謙一の歩みを紹介しました。

②では、まず、佐藤・加藤二人の津軽人の熱血沸き立つ出会いを、加藤謙一の御息加藤丈夫氏から寄せていただいた前ページの文章をパネルで紹介しました。さらには、佐藤紅緑の御息女、直木賞作家の佐藤愛子氏からも少年小説執筆当時の父君の思い出についての文章を寄せていただくことができない、パネルにして掲げさせていただきました。雑誌「少年倶楽部」(復刻版を含む)を年代順に陳列しましたが、軍国調の表紙絵に時代を感じる一方、昭和初期の褐色というイメージを払拭するようなカラフルさが印象的でした。また、「少年倶楽部」の人気を支えた作家と作品を紹介するとともに、誌面の一部を拡大パネルにして展示、また、当時絶大な人気を集めた付録の実物のほか、講談社からお借りした貴重な写真を展示することができました。

③では、価値観が大きく転換した戦後も、紅緑作品は、かつての読者達の心を支え続けたこと、また、不遇の中でなおも少年誌編集の志を曲げなかった謙一の姿を紹介しました。佐藤愛子氏からは晩年の紅緑日記をはじめ、貴重な遺品を多数お借りして展示させていただきました。また、弘前大学附属図書館、手塚プロダクションのご協力により、謙一と父子のような交流があったことがうかがえる、貴重な手塚治虫の書簡を展示す



企画展「加藤謙一と佐藤紅緑」展示風景

ることができました。

十月二十八日(日)には、青森県近代文学館主幹伊藤文一による日曜講座「少年倶楽部の時代」を県立図書館四階研修室にて開催しました。雑誌「少年倶楽部」に連載された紅緑作品のあらすじ紹介の後、それらの作品が描かれた当時の時代背景についての解説がなされました。講座修了後、「高校生による佐藤紅緑作品朗読会」が、企画展示室前ロビーで開催され、弘前工業高等学校生徒のみならず、朗読によって、紅緑作品に命が吹き込まれました。特に、登場人物と同年代の男子生徒二人による会話の掛け合いは絶品で、作品中の少年達の苦しみ、喜びがひしひしと伝わり、当時の読者の感動を追体験することができました。

(伊藤文一、青森県近代文学館主幹)

パネル展開催

特別展「鳴海完造と秋田雨雀」をはじめ、展覧会ゆかりの地域の施設・学校等の協力を得て開催いたしました。会場は次の通りです。

- ◇「青森文学の軌跡〜県南出身の文学者〜」パネル展
県観光物産館アスパム 4月18日〜5月6日
- ◇「斗南藩と文学」パネル展
田名部高等学校 7月3日〜22日
青森高等学校 7月15日
- ◇「鳴海要吉」パネル展
弘前学院大学 10月4日〜13日
- ◇「鳴海完造と秋田雨雀」パネル展
弘前工業高等学校 10月18日〜24日
柏木農業高等学校 10月25日〜31日
弘前高等学校 11月1日〜8日
大湊高等学校校内校舎 11月9日〜18日
黒石高等学校 11月12日〜16日
青森南高等学校 11月19日〜26日
スポカルイン黒石図書コーナー 11月22日〜12月21日
- ◇「鳴海完造と秋田雨雀」パネル展
「斗南藩と文学」パネル展
県総合学校教育センター 1月8日〜25日



パネル展「鳴海完造と秋田雨雀」
弘前工業高等学校

新収蔵資料展「十人点描」資料が語る作家の「こころ」開催報告

平成二十五年一月十九日(土)から三月二十日(水)までの会期で、新収蔵資料展「十人点描」を開催しました。近年新しく当館蔵となった資料の中から、本県ゆかりの作家十人の資料を展示しました。以下、取り上げた作家と主な資料について紹介します。

◆葛西善蔵葉書(大正九年十月九日付、面家庄侘宛)

大鑑閣(東京の出版社)の編集者に宛てたもの。金百円を落手したことへのお礼と、明日北海道に出発する予定であることが綴られています。

◆福士幸次郎書簡(昭和七年十月二十九日付、荻原井泉水宛)

無季自由律を唱えた俳人、荻原井泉水から贈られた「作品集」へのお礼が記されています。丁寧な言葉ながら、井泉水の俳句への批判も見受けられます。

◆鳴海完造旧蔵図書

膨大なロシア文学の貴重な文献を集めた鳴海完造は、日本の書籍も多く集めていました。夏目漱石の『道草』をはじめ、近代文学史上、有名な作品の初版本等、三十六冊を展示しました。

◆北村小松の作品

東京高等工業学校(現東京工業大学)進学を目指したこともあった北村は、工作を得意としました。手製の本棚とレコードプレーヤーを、これらが写り込んだ肖像写真と一緒に展示しました。



北村小松自作レコードプレーヤー

◆菊谷栄脚本原稿

エノケンこと榎本健一の黄金時代を支えた劇作家、菊谷栄の脚本原稿二十二作品を展示しました。このたび青森県立図書館から移管となった資料です。

◆高木恭造英訳作品掲載雑誌・書籍

カナダの文芸誌「マラハット・レビュー」をはじめ、イギリスの詩人J・カーカップの翻訳による高木作品が掲載された雑誌・書籍十二点を展示しました。

◆今官一の未発表原稿

当館では昨年度、所蔵している今官一の未発表原稿六点を翻刻し、資料集として刊行しました。これらに加え、資料集に収録できなかった大作「女帝エカテリーナ2世」の原稿を展示しました。

◆菊岡久利の墨画

菊岡久利は詩、小説、戯曲を手掛けた多彩な文人でしたが、今回は四十代の頃から取り組んだという墨画に注目。墨画、墨彩画合わせて十七点を展示しました。



三浦哲郎原稿「さすらいびと」

◆三浦哲郎原稿(単行本未収録作品)

「さすらいびと」は掲載誌未詳、「雪の宿にて」は雑誌「市政」に昭和三十八年に掲載された作品です。いずれもブルーブラックインクで書かれた原稿です。

◆長部日出雄原稿「迷路の感覚」ぼくの弘前

昭和五十六年に雑誌「ミセス」に発表された文章の原稿で、子供の頃に見た風景の記憶が綴られています。後に、兄である長部誠の写真集「弘前 わが愛の迷宮」に収められた作品でもあります。

なお総資料点数は一五九点、二月二十四日に日曜講座「資料に映る十作家の横顔」(竹浪担当)を実施しました。(竹浪直人、青森県近代文学館主事)

第十一回青森県近代文学館川柳大会

三月三日(日)、第十一回青森県近代文学館川柳大会を青森県立図書館集会所で開催しました。今回の宿題は「澄む」、「呼吸」、「ふわふわ」、「台所」、当日発表の席題は「北村小松の手製レコードプレーヤー」でした。参加者八十二名の賑やかな会となりました。

今回は、初の試みで、選句の間、工藤青夏氏等によって高田寄生木、時実新子といった川柳作家の作品朗読が行われました。また、参加者が持ち寄った柳誌の交換会も大変好評でした。大会の特選句は次のとおりです。

席題「北村小松の手製レコードプレーヤー」佐藤古拙選

彫り上げた音を縄文の手で磨く
むさし

席題「北村小松の手製レコードプレーヤー」津田 暹選

雪やまぬ止まぬとフーガニ短調
吉田州花

席題「澄む」種市みどり選

少年の中で魚は泳いでる
佐藤千秋

席題「澄む」佐藤雅秀選

朱鷺の目に似てきた夫婦だけの空
千島鉄男

席題「呼吸」きさらぎ彼吾選

特別に特別じゃない4コマ目
真美

席題「呼吸」太田 久選

紙人形の吐息を聴いている独り
千島鉄男

席題「ふわふわ」鶴賀一声選

メレンゲの雪しんと介護する
千島鉄男

席題「ふわふわ」濱山哲也選

くぐり戸を抜けて見つけたしゃぼん玉
葉閑女

席題「台所」高田和子選

苛立ちが鍋を溢れる外は雪
悠とし子

宿題「台所」福井陽雪選

三月の轆サラダに色を足す
渡辺敏子

資料寄贈者紹介

次の方々から資料を寄贈していただきました。ありがとうございました。今後とも当館への御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。

平成二十五年二月二十八日現在

図書・資料受け入れ報告

平成二十四年三月～二十五年二月

- 青嶺俳句会『第一人回「俳句のまち八戸」学生俳句大会入選句集』
- 青森県環境生活部県民生活文化課『県史編さんグループ』『青森県史叢書 近現代の美術家』
- 青森県現代俳句協会『青森県現代俳句年鑑 2012年版』二冊
- 青森県長寿社会振興センター『青森県高齢指導者登録者リスト』
- 青森県俳句懇話会『新青森県句集 第二十三集』
- 青森県立美術館『Art and Air』二冊 他図書二冊
- 青森公立大学国際芸術センター『青森』『再考現学 phaseel』他図書・雑誌五冊
- 青森市教育委員会『AOMORI Art Music MAP』
- 青森市総務部総務課市史編さん室『新青森市史 通史編第二巻 近世』
- アトラス出版『新松山紀行 歴史と文化・再発見の旅』
- 阿部誠也『短篇集 海鳴りのとき』
- 尼崎市総合文化センター『文芸作品集』
- 新谷博『雪天句集 第6集』
- 安東貞子『句集 雪嶺』二冊
- 石川肇『Japan Today 研究』
- 市川市文学クラブ『市川の文学 散文編』
- 市川手児奈文学賞実行委員会『二〇一二年市川を詠む』

- 一茶記念館『小林一茶百八十六回忌全国俳句大会作品集』
- 伊奈かつべい『笑う原稿用紙津軽弁』CD・DVD
- 井上直哉『燃える空飛ぶ円盤―北村小松UF小説集』
- 今谷弘『文章世界』第三巻第二号
- いわき市立草野心平記念文学館『若山牧水展』他図書一冊
- 岩崎眞里子『渚にて』
- 遠藤周作文学館『遠藤周作と長崎―心の鍵が合う街』
- 大阪国際児童文学館『第28回ニッサン童話と絵本のグランプリ 創作童話・絵本入賞作品』
- 大橋照子『康士短歌会 三十周年記念合同歌集』二冊
- 大原富枝研究会『大原富枝 短詩型文学』
- 小笠原茂介『詩と思想』8月号 他図書一冊
- 岡田芳一『菊岡久利関係資料』一点
- 小笠裕二『解説 小川未明童話集 45』
- かごしま近代文学館『向田邦子寄贈資料目録』他図書一冊
- 笠嶋義夫『我ら明清親衛隊』他雑誌一冊
- 加藤丈夫『サトウハチロー 僕の東京地図』
- 神奈川文学振興会『島崎藤村展』他図書一冊
- 河北文化事業団『第61回平成23年度河北文化賞』
- 鎌倉文学館『生誕820年 源実朝』他図書一冊
- 川村慶子『詩集 遠き海明け』他図書・雑誌三冊、特殊資料一点
- 企画集団ぶりずむ『「あおもり草子」通巻二一四号』
- 菊池シュン『改訂版 考・点と線』二冊
- 北九州市市民文化スポーツ局『第22回北九州市自分史文学賞報告書』他図書一冊
- 北九州市立文学館『働き、書いた―北九州の職場雑誌展』
- 北九州市立松本清張記念館『松本清張と映画』他図書一冊
- 北村圭一『北村益・小松関係資料八十二点』
- 木村修三『句集 花屑』二冊
- 木村妙子『木村稜太句集 山頂のケルン』

- 木村稚子『木村稚子歌集』
- 京武輝子『斜陽』他図書・雑誌一十六冊
- 草野心平記念文学館『草野心平の愛した動物たち』
- 工藤貴子『鳴海完造旧蔵資料六十二点』
- 工藤正廣『機械と狼』他図書一冊
- 窪田友彦『少年倶楽部』附録「軍艦三笠大模型」
- 群馬県立土屋文明記念文学館『無頼の先へ』他図書二冊 リーフレット一部
- 源一『太宰治のおお草紙』二冊
- 高知県立文学館『宮尾登美子の「錦」と龍村平藏の「美」展』
- 江東区砂町文化センター『第11回石田波郷記念「はこべら」俳句大会句集』
- 郷よしゆき『Stork』他図書一冊
- こおりやま文学の森資料館『工藤直子の世界』他図書二冊
- コスモメディア『Fig』05 二冊
- 小諸市教育委員会『第十八回小諸・藤村文学賞入選作品集』
- 小山弘明『光太郎資料38』他図書三冊
- 斎藤三千政『青森県ゆかりの文学II』二冊
- 齋藤茂吉記念館『齋藤茂吉記念歌集 第38集』
- 桜庭和浩『芽生をうゑる』
- 佐々木靖章『小説集 微風』他図書・雑誌九冊
- 産経新聞社『第一回河野裕子短歌賞』他図書一冊
- 此岸俳句会『季刊誌 此岸』創刊号
- 篠原喜々『句集 踊子』二冊
- 秀明大学『芥川龍之介展』
- 小学館『増補改訂版 全国文学館ガイド』二冊
- 昭和館『昭和の紙芝居』他図書五冊
- 書肆 青樹社『第十回 詩と創造セミナー資料』
- 新学社『国語活用資料集』二冊
- 新宿区地域文化部文化観光課文化資源係『「漱石山房」の復元に向けた基礎調査報告書』
- 新人物往來社『青森県謎解き散歩』二冊
- 水星舎『Jinnary』
- 杉並区立郷土博物館『杉並区立郷土博物館年報 平成22年度版・研究紀要 第19号』

- 杉本敦子『句集 未完』
- 鈴木喜代春『白い国の詩』通巻603号
- 鈴木廣一『棟方志功関係資料十一点』
- 世田谷文学館『移動文学館』他図書四冊
- 仙台文学館『井上ひさし資料特集展 vol.1』他図書一冊
- 川柳しらかみ吟社『川柳しらかみ吟社合同句集』
- 大修館書店『太宰治の年譜』
- 高木淳一『高木恭造関係資料二二八点』
- 高木ノンコ『海城学園創立120周年外伝』戦後初の文化祭』他菊岡久利関係資料五〇点
- 節のふるさと文化づくり協議会『土のふるさと 第15回長塚節文学賞入選作品集』
- 鷹俳句会『鷹』第49巻第6号
- 竹森茂裕『御伽草紙』
- 多田美千代『続 嘉村謙多ノート』他図書一冊
- 立花義康『一生青春』二冊
- 館田勝弘『新聞「日本」と青森県の俳人たち』他雑誌三冊
- 田中幸一『寺山修司関係資料九十九点』
- 田辺市立美術館『詩人たちの絵画』
- 短歌結社『草の会』平成二十三年度歌会詠草集 如月の声』二冊
- 調布市武者小路実篤記念館『手紙に見る実篤への思い』他図書一冊
- 調布市武者小路実篤記念館『父の会』『父・実篤の周辺』
- 津軽書房『今官一関係資料七点』
- 津軽弁の日やるべし会『津軽弁の日25』CD 他特殊資料一点
- 壺井栄文学館『二十四の瞳読書感想文コンクール入賞作品集』他図書一冊
- テイ・マックス『Seito Style』vol.1
- 東奥日報社『詩と批評 火牛』第五十三冊 他雑誌五冊
- 東京都江戸東京博物館『東京都江戸東京博物館紀要 第2号』
- 徳島県立文学書庫『寂聴90歳記念展 恋と革命に生きた女たち』
- 中村真生子『なんでもない午後』

- 中村喜和『ロシアの風―日露交流二百年を旅する』
- 成田繁之『風のうわさ』
- 成田本店『青春と読書』十二冊、「図書」十二冊、「波」十一冊 計三十六冊
- 新潟県立歴史博物館『かぶりものと女のモノ語り』
- 新美南吉記念館『生誕百年 新美南吉』他図書二冊
- 西村孝子『今官一作品 上・下巻』他図書十五冊
- 日本近代文学館『日本近代文学館年誌資料探索7』
- 日本現代詩歌文学館『未来からの声が聴こえる 2011.3.11と詩歌』
- 野沢省悟『川柳マガジン年鑑 2008』他図書二冊
- 野澤秀昭『北斗』36号 五冊
- 函館市文学館『石川啄木の終焉と妻節子』
- 嘴朋子『句集 象の耳』
- 長谷川成一『翻刻 太宰治目録ノート 英語・修身』他図書一冊
- 畑中とほる『句集 下北』二冊
- 八戸ポータルミュージアムはっち『八戸ポータルミュージアムはっちの歩み』
- 帆船美術館『日本美術百科辞典 巻1 描かれたフォルム』他図書一冊
- 姫路文学館『姫路文学館紀要 第15号』
- 平泉千枝『藝術研究』第二十五号
- 弘前市立郷土文学館『長部日出雄直木賞受賞四十年記念展』
- 「ふくい風花随筆文学賞」実行委員会『第15回ふくい風花随筆文学賞入賞作品集』
- 福井次郎『暗門の祈り』他図書一冊
- 福井強『開けっぱなしのパンドラの箱』
- 福井一『アパノ聲』三冊
- 福岡市文学館『青春への恋文』
- 福士光喬『数へ日 福士岬人遺句集』
- 福士慕情『合同句集「三年目」』二冊 他図書四冊
- 福島県立勿来高等学校『句抄 あすなろの子ら』

- 福田正夫詩の会『まじろみ』他図書三冊
- 福村忠夫『元禄十家俳句集』他図書一冊
- ふくやま文学館『福山の文学 第十四集』他図書一冊
- 星野明彦『いのちのにつき』
- 北海道立文学館『季恢成の文学』他図書三冊
- 米田省三『大塚甲山遺稿集 第二巻』他図書五冊
- 前橋文学館『朔太郎・朔美写真展』他図書一冊
- 正木悦子『和エス辞典』他図書五冊
- 町田清朗『モルヒネ』他図書十冊
- 松尾剛『三木露風と三木木』
- 松山市立子規記念博物館『子規と明治の女性たち―八重・律から―葉・晶子まで』
- 杉山俊雄『夢』他図書一冊
- 三上強二『出帆旗』他図書・雑誌二十九冊、特殊資料二十一点
- 三沢市寺山修司記念館『三沢市寺山修司記念館15周年』五冊
- 三沢市歴史民俗資料館『東日本大震災 三沢市の記憶』
- みちのく北方漁船博物館『よみがえった北前船の道』二冊
- 峰芳隆『「A Morado」』第71号 他図書・雑誌二十九冊
- 椋鳩十文学記念館『全国読書感想文入賞作品集』
- 明治図書出版『よくわかる国語の学習2』他図書三冊
- 森英一『改造』第32巻第1号 他雑誌二冊
- 盛田稔『生涯現役 波乱万丈の95年』
- 焼津小泉八雲記念館『第21回(平成23年度)小泉八雲顕彰文芸作品コンクール入選作品集』
- 八木田順峰『短歌誌 なんぶ』五十八号 二冊
- 山内恭子『高木恭造関係資料六十九点』
- 山内聖子『歌集 水紋』
- 山梨県立文学館『歿後五十年 飯田蛇笏展』他図書一冊
- やまなし文学賞実行委員会『祝人伝』
- ゆすりか社『ゆすりか』94号

- 洋泉社『入門 心に響く日本語』
- 古川獎一『Rivero』No.1 他雑誌二十五冊
- 立教女学院短期大学図書館『児童文学講座』創刊準備号
- 類家省二『詩歌小径』二冊 他図書八冊
- 渡辺隆夫『点鐘雑唱 2011年刊』他図書三冊
- 青嶺俳句会『青嶺』
- 青森アララギ会『青森アララギ』
- 青森県歌人懇話会『青森県歌集』
- 青森県教育厚生会『三潮』
- 青森県郷土作家研究会『郷土作家研究』
- 青森県川柳社『川柳誌「ねぶた」』
- 青森県長寿社会振興センター『あすなろ俱樂部』
- 青森県歩道短歌会『北潮』
- 青森古今短歌会事務局『歌誌「青森古今」』
- 青森美術音楽鑑賞会『A B O K』
- 青森文学会『青森文学』
- 青森ベンクラブ『北の邊』
- あしかげ社『蘆光』
- 尼崎芸術文化協会『芸文あまがさき』
- 新谷博『雪天』
- 井上康『みちのく春秋(二重礼母禮)より 改題』
- 井上靖研究会『井上靖研究』
- 大阪国際児童文学館『国際児童文学館紀要』
- 大佛次郎記念館『おさらぎ選書』
- 小田桐優子『俳句鼎「妙」』
- 鬼『鬼』
- 小山正見『感泣亭秋報』
- 海光発行所『詩誌「海光」』
- 節画の会『節画』
- 風詩社『詩誌「風」』
- 金沢文化振興財団『研究紀要』
- 川内俳句会『ひこばえ』
- 菊池寛記念館『文藝もず』

定期刊行物(平成二十四年度分)

- 北の会『きたのやかた』
- 北の街社『北の街』
- 木村美映『季刊「美映」』
- 陸羯南会『陸羯南会誌』
- 国原社『歌誌「国原」』
- 黒艦隊『俳誌「黒艦隊」』
- 群系の会『群系』
- 薫風発行所『俳誌「薫風」』
- 勁草社『勁草』
- 月刊弘前編集室『月刊弘前』
- 越谷市立図書館 野口富士男文庫『野口富士男文庫』
- 朔社『詩誌「朔」』
- 此岸俳句会『俳誌「此岸」』
- 自作詩を朗読する会『詩誌「エディデヤ」』
- 紫明の会『紫明』
- 下北文化編集委員会『季刊総合誌「しもきた文化」』
- 渋柿園俳句会『俳誌「渋柿園」』
- 昭和館『昭和のくらし研究』
- 書肆 北興舎『北興氣圏』
- 真朱の会『真朱』
- 水星舎『アトランチスノート』
- 全国文学館協議会事務局『全国文学館協議会紀要』
- 川柳風の会『川柳誌「風紋」』
- 川柳触光舎『触光』
- 川柳ゼミ『青い実の会』
- 川柳塔みちのく『川柳誌「川柳塔みちのく」』
- 川柳ひらなひ社『川柳誌「川柳ひらなひ」』
- 外海吟社『外海』
- 泰斗舎『あおり芸術鑑賞友の会文化情報誌「びーち」』
- 高田寄生木『川柳誌「北貌」』
- 高山市生涯学習課『平成二十三年度高山市近代文学館調査・研究報告書』
- たかなな発行所『俳誌「たかなな」』
- 「太宰治スタディーズ」の会『太宰治スタディーズ』
- 多田美千代『風響樹』
- 潮音社『潮音』

- 調布市武者小路実篤記念館―解説シート「もつと知りたい武者小路実篤」
- 帝國芸術新聞社―「帝國芸術新聞」
- 胴乱詩社―詩誌「胴乱」
- 徳島県立文学書道館―「徳島県立文学書道館研究紀要 水脈」
- 豊巻つくし―川柳誌「うまつこ」
- 十和田かばちえつぽ川柳吟社―「川柳かばちえつぽ」
- 新潟県立歴史博物館―「新潟県立歴史博物館研究紀要」
- 新美南吉記念館―「研究紀要」
- 日本現代詩歌文学館―「日本現代詩歌研究」
- 日本民主主義文学会弘前支部―「弘前民主文学」
- 梅光学院大学―「梅光文芸」
- 俳人協会―「俳句文学館紀要」
- Pasharingo―「本のパーキング」
- 八甲田川柳社―「川柳八甲田」
- 波止場の会―「波止場」
- はまなす発行所―「はまなす」
- 帆風美術館―「風」
- 萬緑青森支部―俳誌「未来」
- 萬緑発行所―「萬緑」
- ひら川吟社―俳誌「ひら川」
- 平野敏―「平野敏詩誌 魚信旗」
- 弘前詩塾―「弘前詩塾」
- 弘前川柳社―川柳誌「川柳林檎」
- 弘前大学国語国文学会―「弘前大学国語国文学」
- 弘前潮音会―短歌誌「すべーす」
- 弘前文学学校―「文学いちば」
- 弘前文芸協会―「文芸弘前」
- 弘前ペンクラブ事務局―「弘前ペンクラブ ニュース」
- 風塵社―「風塵」
- 福井―「ム」
- 福田正夫詩の会―「焰」「新しい風」
- ふだん記津軽グループ―「ふだん記津軽」
- 文藝軌道の会―「文藝軌道」
- 文団・遙―「遙」
- 北狄社―「北狄」

- 本郷七日会―俳誌「地塩」
- 前橋文学館―「前橋文学館研究紀要」
- 松丘保養園慰安会―「甲田の裾」
- 湊川神社社務所―「あゝ楠公さん」
- 無名群社―「無名群」
- 「群山」青森短歌会―「朔天」
- 山田尚―「亜土 第一次」
- 山梨県立文学館―「紀要 資料と研究」
- 悠短歌会―「悠」
- 樸俳句会―「樸」
- 瑠璃の会―「瑠璃」
- 若菜の会―「若菜」
- 《館報》
- 青森県総合社会教育センター―「所報響」
- 青森田中中学園―「こぶしの花」
- 有島記念館―「有島記念館」
- 石川近代文学館―「石川近代文学館ニュース」
- 泉鏡花記念館―「鏡花雪うさぎ」
- 一茶記念館―「一茶記念館だより」
- 井上靖記念館―「井上靖記念館報」
- 岩手県立埋蔵文化財センター―「わらびて」
- 大阪国際児童文学館―「国際児童文学館 REPORT」
- 大島博光記念館―「大島博光記念館ニュース」
- 科学研究費補助金プロジェクト「昭和文学の結節点としての福永武彦―古事記からヌーヴォロマンまで」―「年報 福永武彦の世界」
- 学習院大学史料館―「ミュージアム・レター」
- かごしま近代文学館―「かごしまメルヘン館―「かごしま近代文学館・メルヘン館報」年報（平成23年度）
- 神奈川文学振興会―「神奈川近代文学館」「神奈川近代文学館年報2011年（平成23年）度」
- 軽井沢高原文庫―「軽井沢高原文庫通信」
- 北九州市立文学館―「北九州市立文学館ニュース」
- 北九州市立松本清張記念館―「松本清張記念館報」
- 虚子記念文学館―「虚子記念文学館報」
- 熊本近代文学館―「熊本近代文学館報」

- 高知県立文学館―「高知県立文学館ニュース 藤並の森」
- 江東区砂町文化センター―「波郷記念館だより」
- こおりやま文学の森資料館―「こおりやま文学の森通信」
- さいたま文学館―「館報」
- 埼玉文芸家集団―「埼玉文芸家集団 会報」
- 斎藤茂吉記念館―「年報」「茂吉記念館だより」
- 坂の上の雲ミュージアム―「坂の上の雲ミュージアム 年報」
- 佐々木基一全集刊行会―「久我山通信」
- 昭和館―「昭和館報」
- 白鳥省吾研究会事務局―「白鳥省吾研究会会報」
- 杉並区立郷土博物館―「炉辺閑話」
- 世田谷文学館―「世田谷文学館ニュース」
- 全国文学館協議会事務局―「全国文学館協議会会報」
- 仙台文学館―「仙台文学館ニュース」「仙台文学館年報」
- 川内まごころ文学館―「平成23年度薩摩川内市川内まごころ文学館年報」
- 台東区立中央図書館池波正太郎記念文庫―「池波正太郎記念文庫報」
- 鷹山宇一記念美術館友の会―「七戸町立鷹山宇一記念美術館友の会会報」
- 調布市武者小路実篤記念館―「館報 美愛眞」
- 壺井栄文学館―「壺井栄文学館だより」
- 東京都江戸東京博物館―「江戸東京博物館NEWS」
- 藤村記念館―「藤村記念館だより」
- 東北大学史料館―「東北大学史料館だより」
- 東北大学総合芸術博物館―「ニュースレター Online」
- 徳島県立文学書道館―「徳島県立文学書道館 ニュース」
- 十和田市立新渡戸記念館―「十和田市立新渡戸記念館だより」
- 中原中也記念館―「中原中也記念館報」
- 新潟県立歴史博物館―「新潟県立歴史博物館 年報」
- 新美南吉生誕100年記念事業実行委員会―「新美南吉生誕100年通信」

- 日本近代文学館―「日本近代文学館」
- 日本現代詩歌文学館―「日本現代詩歌文学館 館報 詩歌の森」
- 日本ユネスコ協会連盟―「世界遺産年報2013」
- 俳人協会―「俳句文学館」
- 原阿佐緒記念館―「原阿佐緒記念館だより」
- 姫路文学館―「手帖 姫路文学館」「姫路文学館年報」
- 弘前市立郷土文学館―「北の文脈ニュース」
- 福岡市文学館―「文学館倶楽部」
- 文京区立森鷗外記念館―「文京区立森鷗外記念館NEWS」
- 文京ふるさと歴史館―「文京ふるさと歴史館だより」
- 北海道立文学館―「北海道文学館報」「平成21年度年報」「平成22年度年報」
- 前橋文学館―「前橋文学館報」
- 松山市立子規記念博物館―「子規博だより」年報」
- 松山大学―「CREATION」
- 三浦綾子記念文学館―「みほりん 三浦綾子記念文学館報」
- 沢市寺山修司記念館―「テラシュー・ニュースレター」
- 三鷹市山本有三記念館―「三鷹市山本有三記念館報」
- みちのく北方漁船博物館―「みちのく北方漁船博物館だより」
- 宮城―「記念館」「宮城」記念館だより」
- 棟方志功記念館―「棟方志功記念館だより」
- 室生犀星記念館―「魚眠洞通信」
- 盛岡てがみ館―「平成23年度 盛岡てがみ館 館報」
- 山梨県立文学館―「山梨県立文学館報」
- 吉川英治記念館―「草思堂だより」

(敬称略、表記は資料に従う)

ギャラリートーク実施

青森県近代文学館の常設展示作家三人について、文学館解説員によるギャラリートークを実施しました。本年度のテーマは「フアイト一冊!」。毎回、解説員おすすめの元気が出る一冊を御紹介しました。開催日・対象作家は次の通りでした。

- ① 9月9日 秋田雨雀
② 9月23日 寺山修司
③ 10月7日 高木恭造
④ 10月21日 佐藤紅緑
⑤ 11月4日 長部日出雄
⑥ 11月18日 太宰治
⑦ 12月9日 葛西善蔵
⑧ 12月23日 今官一
⑨ 1月13日 三浦哲郎
⑩ 1月27日 福士幸次郎
⑪ 2月10日 北島八穂
⑫ 2月24日 石坂洋次郎
⑬ 3月10日 北村小松



中村解説員による葛西善蔵ギャラリートーク

今月の作家コーナー

常設展示室で昨年度に引き続き実施している「今月の作家コーナー」。今年度のテーマは次の通りでした。

- 6月9日 茨城県横瀬夜雨記念会27名見学
6月13日 浜田小学校6年生5名見学
6月16日 スポット展示「太宰治開会」(7月1日)

- 4月6日 風晴知子氏(八戸ポータルミュージアム館長)来館
4月19日 三村申吾氏(青森県知事)来館
4月28日 企画展「斗南藩と文学」開会(6月10日)
葛西富夫氏夫妻(企画展協力者)来館
5月1日 久慈きみ代氏(青森大学教授)来館
5月13日 斗南藩と文学日曜講座(竹浪主事)
5月15日 遠島進氏(むつ市教育委員会教育長)来館
5月16日 青森中央学院大学6名見学
5月18日 浦町保育園46名見学
5月20日 斗南藩と文学日曜講座(佐々木高雄氏)
5月21日 特殊資料庫燻蒸(24日)
5月22日 星亮一氏来館
5月25日 むつ市教育委員会5名来館
5月29日 青森中央短大附属幼稚園33名見学
5月31日 三浦順一郎氏(全国北前船研究会)来館
6月5日 青森中央短大附属幼稚園52名見学
6月6日 森谷健司氏(三沢市先人記念館館長、堀内彩子氏(同学芸員)来館
6月9日 黒石ほるぶ(子ども館)あて塾45名見学
6月13日 茨城県横瀬夜雨記念会27名見学
6月16日 スポット展示「太宰治開会」(7月1日)

館務日誌



1・2月展示「佐藤米次郎」

http://www.plib.pref.aomori.lg.jp/top/museum/kongetsu.html

なお展示内容や各作家の略歴については、当館ホームページ、左記のコーナーで見ることが可能です。

- 4・5月 斎藤吉彦 5・6月 庄司力蔵
6・7月 川島雄三 7・8月 船水清
8・9月 鳴海要吉 9・10月 石田三治
10・11月 福士幸次郎 11・12月 サトウハチロー
12・1月 柳田泉 1・2月 佐藤米次郎

- 6月19日 大鰐小学校6年生44名来館
6月20日 文学館資料調査員会議
6月27日 北海道立図書館3名見学
6月29日 北日本図書館大会参加者23名見学
7月3日 石井頼子氏(種方版画美術館学芸員)来館
7月4日 西平内中学校14名見学
7月6日 出前講座「斗南藩と文学」(田名部高校・竹浪主事)
7月8日 和徳公民館3名見学
7月10日 県高等学校図書委員研修大会50名見学
7月12日 岩手県一戸町民セミナー20名見学
7月14日 特別展「鳴海完造と秋田雨雀」開会(9月9日)(開会式テープカット)工藤貴子氏(鳴海完造長女)、佐藤義弘氏(秋田雨雀記念館館長)
7月15日 出前講座「斗南藩と文学」(青森高校・竹浪主事)
7月18日 文学館評議委員会
7月20日 黒石図書館づくり市民の会30名見学
7月24日 板柳子ども司書養成講座13名見学、平川市図書館文学散歩(十和田湖・飛内室長)
7月25日 鳴海広道氏(黒石市長)来館
7月26日 青森高校7名見学
7月27日 今村かほる氏(弘前学院大学准教授)来館
7月28日 鳴海健太郎氏(郷土史家)来館
7月29日 特別展講演と朗読の会(工藤正廣氏、十和田点訳・朗読奉仕会、津軽みらい農協フレスポーツ部会22名見学)
8月7日 中国青年団代表団30名見学
8月9日 山川満寛氏(福井県教育庁)来館
8月12日 第一回文学講座(中村喜和氏、紙芝居「鶴の湯物語」実演(山口つぎ子氏))
8月13日 藤田洋子氏(藤田龍雄夫人)来館
8月19日 弘前市和徳公民館45名見学
8月26日 第二回文学講座(三上強一氏、斎藤三千政氏)
8月29日 青森市立北中学校6名見学
9月1日 安田保民氏(作家)、盛田稔氏(青森山田学園理事長)来館
9月2日 特別展日曜講座(飛内室長)、子どもの読書活動推進県民大会18名見学
9月3日 県総合学校教養センター研修講座(金木公民館・飛内室長)
9月5日 青森市立造道中学校1学年18名見学
9月6日 高橋秀太郎氏、高橋由貴氏、森岡卓司氏、仁平政人氏、茂木謙之介氏、(東北の疎開研究)来館
9月7日 大町芳章氏(大町桂月孫)夫妻、谷川妙子氏(大町桂月を語る会)来館
9月8日 野辺地町子ども司書養成講座10名見学
9月15日 スポット展示「寺山修司」開会(9月30日)
10月4日 青森中央高校15名見学、静岡教友の会15名見学
10月5日 弘前市立第4中学校5名見学

- 10月6日 青森県高総文芸部門37名見学
10月11日 青森中央高校1学年32名見学
10月13日 企画展「加藤謙一と佐藤紅緑」開会(11月25日)
10月15日 高教研図書部会中弘南地区図書委員研究会弘前実業高校・飛内室長)津島園子氏来館
10月21日 佐々木英明氏(三沢市寺山修司記念館館長)、茨澤靖子氏(同館学芸員)来館
10月22日 津島園子氏来館
10月27日 尋常浅間学校かつの分校(秋田県)来館
10月28日 加藤謙一と佐藤紅緑日曜講座(伊藤主幹)、佐藤紅緑作品朗読会(弘前工業高校生徒)
10月30日 加藤暢夫(加藤謙一子息)夫妻来館
10月31日 青森中央学院大学公開講座「燃ゆるが如き」佐藤紅緑の少年・少女小説(青森中央学院大学・飛内室長)
11月10日 沖野寛氏(三浦哲郎文学を読む会)来館
11月12日 佐藤愛子氏(佐藤紅緑息女)、佐藤響子氏(同合孫)、佐藤きむ氏来館
11月14日 海老原真氏、倫子氏(工藤四代治長女夫妻)来館
11月19日 藤久丈夫氏(加藤謙一子息)来館
11月27日 浪岡小学校5年生43名見学
12月8日 スポット展示「石坂洋次郎」開会(12月24日)
12月20日 小田島弘氏(鎌倉文学館)来館
12月20日 ミニ展示「文学館スタンプリー」のあゆみ(開会)(1月27日)
1月5日 新収蔵資料展「十人点描」資料が語る作家のこころ」開会
1月19日 館田勝弘氏(弘前市立郷土文学館)、藤寿々夢氏(弘前文学学校校長)来館
2月8日 坂内徳明氏・知子氏(橋本大学)来館
2月24日 新収蔵資料展日曜講座(竹浪主事)
3月1日 全国文学館協議会共同展示「文学と天災地変」開会(3月31日)
3月3日 第11回青森県近代文学館柳木大会

青森県近代文学館報 第三十号
発行日 平成二十五年三月十九日
編集発行 青森県近代文学館
〒030-0184 青森市荒川字藤戸二九七
電話 〇一七三九二五七五
http://www.plib.pref.aomori.lg.jp/top/museum/